



FRIENDS

The Friendship Force of Saitama 会報 第110号 (2023/5)

<http://www.ffi-saitama.com/>

Greater Cincinnati Club を受け入れて



2023/3/26~4/1

HC 稲垣 洋子



2018年のクラブの訪問以来コロナの最盛期を経て、まだインフルエザ、ノロウイルスも含め感染症の心配や不安を抱えた計画でしたが、3月26日いざ蓋を開けてみると、アンバサダーも埼玉クラブの会員も一斉に元気よく、勢いのある活動となりました。

羽田出迎え：飛行機の到着が5便に分かれ、到着時間の遅れもあり大変でしたが、アンバサダーもキャンセルの定員を埋めるため、OH州のみならず、NY州、GA州、FL州と広範囲からの参加でした。

27日の埼玉ツアー：盆栽美術館では英語のガイドもあり、自然を小さな空間の中で凝縮して楽しむという日本の心を理解してもらえたようです。

午後の川越散策は、稲垣朋彦さんの経験豊かな案内と説明で全員無事に歩きました。ペアーを組んでもらったので歩きの早い人、遅い人もそれぞれマイペースで進めて良かったです。

28日Welcome Party：コロナ対策の制限があるにもかかわらず、食べ物や飲み物も十分に用意されて感

心しました。

実行委員をチームごとに楽しく紹介できたのは何よりうれしかったです。

日光バスツアー：駐車場を変えたため、問題になっていた階段は使いませんでした。

陽明門までの歩行距離はともかく、さらに上の家康廟まで希望され、その場で健脚なペアーに組み替えて登り1周しました。

アメリカは車社会ですし、今回は高齢者ばかりなので足腰に注意しなければと思っていましたが、先入観はいけません。何事においても。

さて、滞在中には、アンバサダーから直接「プログラムが良かった」「埼玉クラブのやり方を自分達もいくつか取り入れたい」などなど、感謝の言葉と共に受け取りました。

大きな事故もコロナの発生も無く成功に終わったことを、埼玉クラブの皆様と一緒に喜びたいと思います。

ありがとうございました。

受け入れ 感想記

シンシナティからのアンバサダーを受け入れて

宇田 祐子

久しぶりの受け入れのお話、まだコロナを心配しながらではあったが出来る限りの対策を立てつつ、ワクワクしながらその日を迎えた。昨年退職し今回はしっかりとアンバサダーとの時間も取れる。Marilyn と Bobbye、最初の3日間は Connie も加わり、我が家が一気に賑やかになった。人生の大先輩である3人は私の拙い英語もちゃんと受け止めてくれる。今回は80代の方たち、と言うこともあり、近くに住んでいる同じく80代の母に、会ってみる？と聞いたところ会ってみようかしら？とのこと。私は長年この活動をしているが、私の母がアンバサダーに会ってみようと言ったのは初めてである。

母は同居の孫(私にとっては姪)と一緒に来てくれた。姪は最近アメリカに行ったばかりとのことで、ボビーたちと話せて大喜び。食事をしながら話も弾み、楽しい時間を過ごし、握手をして別れた。遠く離れたところで同じ時代を生きてきたことをお互い感じられたのではないだろうか。また別の日には娘や息子家族も彼女たちに会いに来てくれて市内の日本

庭園やいちご狩りに出かけたりした。

80代のお二人ではあるが、いろいろなことに興味津々で、その行動力には脱帽である。趣味も多く素敵な生き方をしているお二人から、私も刺激を受け、学ばせてもらった。アメリカの家や家族の写真も見せてもらい、お二人の日常の背景を想像してみると、いつの日かシンシナティを訪ねて見たいと思う。

今回もまたお迎えの日や東京でのデイホストなど、周りのメンバーに協力してもらいながら、無事に終わることができた。人との繋がりやFFの関係性に感謝。

本当にありがとうございました。



ウエルカムパーティーで

Free Day の2日間

岩崎 倉子

新井さんから、Judyさんはしゃがめないわよ、との情報を得ていたので、小さな机でトランクを置けるようにし、厚いマットレスを2枚敷きました。翌朝 perfect と。よく寝られたのだと思いました。

フリーデーの日は水曜日だったので仲間と一緒に体操をしたが、途中で Judyさんは無理だとわかったので、椅子に腰かけてもらい見学してもらうことにしました。体操の後いつもしているマッサージをしました。

いかに日本人は身軽でしゃがんだり立ったりすることが何気なく出来ている事か。素晴らしいと感じました。食事も関係していると思います。その後川田さんが持ってきてくれた



ウエルカムパーティーで

Jengaというゲームをしましたが、Judyさんはこのゲームを知っていました。

二日目のフリーデーは5人のアンバサダーとスパに行きました。岩盤浴もありリラックスしてもらえましたが、すぐに熱いと言って出て行ってしまいました。その後堀切さん宅で美味しいお食事をご馳走になり音楽を楽しみました。

私の20年来の友達で、耳が聞こえない人に口読術を30年150名に教えていた友達がいます。それと自閉症や発達障害の方に21年教え日本リハビリテーション専門学校(4年制)で20年教えていた先生と友達になりました。そしてJudyさんは目の見えない人の先生で47年間教えていたそうです。世の中何か不思議ですよ。楽しい受け入れでした。

今回の受け入れに関しご尽力くださった皆様に感謝申し上げます。

「なんて素晴らしいクラブなの!!!」

長谷川 朝子

ウェルカムパーティーも終盤、パウダールームで、あるアンバサダーのご婦人に出会いました。挨拶するなり、
「あなた達は、なんてことをしてくれるの?!」
「何とすごいクラブでしょう!!」
「なんて素晴らしいクラブなの!!!」
「-----!!」

と喜びと感激に満ち溢れたような笑顔から、次々と称賛の言葉が飛び出しました。お花を生けたり、着物を着たり、お習字や日本の遊びをしたり、よほど楽しかったのでしょう。一人で聞くにはもったいないほどの喜びの声、皆さんにここにお伝えできて良かったです。

一つの行事を行う際、計画から準備、その他諸々全てのことが上手くいって、初めて普通の会が進行していく。でもこんなに喜んでくださっているのを目の当たりにして、フレンドシップ精神、おもてなしの

心、皆様の努力が大いに花開いたと嬉しくなりました。

埼玉ツアー、日光ツアー、東京ツアー、フリーデー、日々の生活の中でも、きっとたくさんのドラマがあったことでしょうね。

コロナ禍後、初めてお迎えした異国の方々、双方の想いがフレンドシップの輪となって、桜の花と共に見事に咲き誇った一週間でした。

役員、実行委員の方々、この交流に関わられた全ての皆様、本当にお疲れ様でした。皆様方のおかげで、こんなに素敵な日々を過ごすことができました。

有難うございました。



埼玉ツアー デイホスト

デイホストを体験して

大山 芳江

コロナ禍を経て、やっと Greater Cincinnati クラブを中心に19名のアンバサダーをお迎えすることができた。そして満開の桜が彼らを迎えてくれた。

来日の翌日は埼玉ツアー。時差ぼけが覚める間もなくのツアーだったが、アンバサダー全員が参加。盆栽美術館、川越を散策した。昼食は色とりどりの日本食が並ぶ彩り弁当。

川越では喜多院、川越まつり会館を見学。途中の町並みには鯉のぼりが宙を舞い、着物姿の女性たち。アンバサダーたちは小江戸の情緒を楽しんでいた。



日光ツアー

来日4日目は日光へのバスツアー。日光到着後、まず田母沢御用邸記念公園を

見学。アンバサダーから天皇、皇后に関する質問、御用邸に滞在中のようすなどの細かい質問が相次ぎ、スタッフの助けを借りながら返答するのがやっとだった。

午後は日光東照宮を見学。世界遺産の建造物の数々に加えて、近くで行われていた和太鼓の演奏を鑑賞することができた。途中から小雨が降り出したが、アンバサダーたちは和太鼓の響きに耳を傾け、躍動感溢れるパフォーマンスに感動していたようである。

5日目は東京ツアー。千鳥ヶ淵、靖国神社を見学。偶然出会った着物姿の女性たちと満開の桜をバックに一緒に写真撮影。アンバサダーの一人はこう言っていた。「桜と着物、これが日本！」和牛ステーキの昼食に舌鼓を打った後は皇居周辺の散策。万歩計の歩数をがっちり稼いだ。

アンバサダーたちの日本に対する興味関心の高さ、異文化に対する敬意を感じた。そして何よりも国を超えて友情の輪を広げられたこと。デイホストを体験して私が得たものは何物にも代えがたい。

埼玉ツアー 川越散策

稲垣朋彦

穏やかな天候の中、19名のアンバサダーの方々と川越駅西口からタクシーで喜多院を拝観、その後、徒歩で大正浪漫通り、時の鐘、川越まつり会館と巡りました。スケジュールがタイトで疲労された方がおられ、今後の課題となりました。

川越大師 喜多院



千二百年の歴史が刻まれた川越大師喜多院の見ごろを迎えた桜を愛でるとともに、国指定重要文化財の春日局の間(徳川家光の乳母春日局が使用された江戸城紅葉山の別殿の移築)を見学し、日本三大羅漢のひとつ五百羅漢(弟子から大仏に至る合計538体)を見学しました。

大正浪漫通り／時の鐘／川越まつり会館

数百匹の鯉のぼりが泳ぐ大正浪漫夢通の散策を楽しみつつ、奈良の大仏と同じ高さ 16mの時の鐘に到着。1627年から川越城主酒井忠勝が建てた環境庁主催の残したい“日本の音風景100選”に選出された「時の鐘」を見学しました。



川越まつり会館

川越まつりは1648年に、川越藩主松平伊豆守信綱が川越氷川神社に神輿、獅子頭、太鼓などを寄進、祭りを奨励したことが始まりといわれます。まつりの実物の山車2台の見学と大型スクリーンに映し出される川越まつりの熱気を楽しみました。



Greater Cincinnati 東京ツアー

高堂 綾

今年は、桜の開花が早まり、当日の桜状況には随分と悩ませられました。幸いなことに天候の良い温かな日を迎えることができ、桜の名所の千鳥ヶ淵散策では、アンバサダーもすっかり桜の虜になっているようでした。



ランチは、お部屋に滝の流れるランチ会場でゆっくりと昼食をいただき、皇居の二重橋を目指して日比谷公園から歩いたのですが、何しろコロナ禍から4年ぶりの交換で、アンバサダーもすっかり足元の悪い方続出。計画はあつてないようなことになり、皆様それぞれにあったペースでの行動に変更。兎に角皆様が楽しい時間を過ごしていただくことと無事の帰宅を考え、自由グループ行動に変更いたしました。



写真でお判りのように笑顔のアンバサダーの顔で満足です。

皆様それぞれに楽しまれたようでこの計画を成功としたと思います。

日本の美しい春に乾杯です。



2023年度 年次総会開かる

1月21日(土曜日)午前10時～11時50分まで、With You さいたま(埼玉県男女共同参画推進センター)4F セミナー室にて総会が開かれた。

29名の出席を得て稲垣朋彦さんの司会進行で始まった。2期目の三好会長の挨拶のあと、埼玉クラブに再入会された赤川澄子さんと杉本睦子さんが紹介された。議長には新井ミキエさんが選出され、議事も滞りなく進行し、役員改選により新体制でのスタートを切った。議事終了後には三好会長から myFF 登録促進についてのプレゼンがあり、一人でも多くの登録を目指す意向だ。午後はホテルブリランテ武蔵野のレストランでおいしいフレンチを食べながら、久しぶりのおしゃべりを楽しんだ一日だった。

【会長2期目に向けて】 会員の力を集めて生き生きとした活動を生み出しましょう！ 三好 紀子

創立30周年をお祝いした埼玉クラブの2023年、新たな次の10年に向かって以下の提案をします。

1. Greater Cincinnati Club 受け入れで見せた総力をあげて取り組む姿勢、個性や考え方の異なる会員が互いを認め合い受け止める姿—これこそ埼玉クラブの宝ともいえるものです！ 大切に守り育てましょう。
2. 3つのサークル活動:英語の会・健康を語ろう会・読書会は会員の生活の一部となり、楽しい集いの場ともなっています。加えてパソコンの会がスタートすれば、私のように悩みをもつ人が、力をつけ、埼玉クラブ全体のレベルアップにつながるかもしれません。
3. 総会で決定した『FF 埼玉の集い』を実行に移しましょう。誰もが参加できる会員交流イベントは、友人を誘って楽しむこともできます。6月は「FF で体験した喜びや様々な体験談を聞く会」7月以降のクラブ行事がない月に企画を提案してください。渡航・受け入れに役立つ情報交換、自由な発想のお楽しみのお会などお待ちしております。
4. 若い世代や長いクラブ歴の人が培った経験や実力を生かせないかと、理事会で提案が出ました(例:準会員制とOB会のようなもの)。しっかりとした組織づくりと長くFFを楽しむためにできることをいまから考えませんか。
5. myFF 登録のために、my.friendshipforce.org をインターネットで開いてみてください。登録のご案内は順次いたします。

新理事紹介

川田恵美子

新たに広報を担当させて頂くことになりました。2018年に当地に引っ越してまいりました。この5年間で、与野公園のバラ園、彼岸花の咲く見沼用水路、盆栽美術館、川越の街、町の中の小道等々を、FF 埼玉のメンバーの皆様と歩く機会に恵まれ、埼玉の素晴らしい魅力に触れることが出来ました。広報部の素敵なお仲間と諸々の情報、ご意見、感想など広報誌を通して皆様にお伝え出来たら嬉しいです。どうぞよろしく願い致します。

宇田祐子

FFには長いこと細々と参加させて頂いていましたが、昨年定年を迎え40年の保育士生活にピリオドを打ちましたので、微力ながら、できるところでお手伝いができればと思っております。人との出会いと、いろいろな国のことばに魅力を感じています。昨年は海外インターンでメキシコのチワワに行き、国際理解授業やオフィスの仕事のお手伝いをしてきました。これからも人と出会いながら、新しい発見を楽しんでいきたいと思っています。



宮城利枝子

この度会計をやらせていただくことになりました。入会したのは、2008年です。初めての渡航はニュージーランドでした。その後、その時の体験を生かしホストファミリーも経験させて頂きました。これからは、一生懸命頑張りますので、皆様ご指導のほどよろしくお願いします。

World Friendship Day 「ZOOM で奈良クラブと交流」

奈良クラブの活動からヒントを得よう！ FFをよく知ろう！

2月25日(土) 10時~12時まで ZOOM で奈良クラブの佐々木啓子会長と FRC 大西弘さんを迎え、奈良クラブと FF の現況、今後の取り組みなどを大いに語っていただきました。

佐々木会長から奈良クラブの概略

会員数：64 家族(FF 個人登録 70 名) 別に準会員が 15 家族 (若い子育て世代が中心)

多世代型クラブを目指している

Active 会員は約 65%

myFF への登録は現在 62 名で、全会員の登録を目指している。

活動は：・今夏、初めて Family 渡航として 8 家族がサンディエゴに渡航予定

・9つの同好会 (手作り・お絵描き・ハイキング・コーラス・ダンス・カラオケ・ゴルフ・英会話・英語で Chat) があり、特技のある方を中心に活発に活動し、会員交流に大いに役立っている。

・過去には奈良女子大学留学生の短期受入れ (ショートステイ・2泊3日) など FF 以外の受入れも実施



FRC (Field Representative Coordinator) 大西弘さんのプレゼン要点

今、FF のクラブが直面している最大の課題は高齢化問題につきる。

◆高齢化問題とは何か

ー・役員,AC,HC のなり手がいない・Active 会員が少ない・活力の低下・渡航、受け入れの参加者が少ない・新しい人が入らない

◆何故こうなったか

ー・会員のコネに頼ってきた (会員と共に高齢化)
・社会構造の変化 (共稼ぎ・70 歳まで働く)
・価値観の変化 (個人で楽しむ)
・60 代、70 代前半の人が会員にならない。

◆今後の取り組み課題は何か

FF は多言語で対応など、個人会員を増やす努力をしているが、ここ 20 年間会員は増えていない。現状はクラブの存続と個人会員に頼らざるを得ず、個人会員制度の積極的拡大との同時進行をせざるを得ない。

◆クラブの存続を図るためには何をすべきか

個人のアイデアとして、具体的に上げると

1. シニア会員の温存 2. Active 会員の育成 3. 国内交流の積極的活用 4. 次世代の苗床を作る

60 代 70 代前半の会員がどれだけ長くクラブに残れるか。この年代の会員が FF の財産を楽しみ、FF の素晴らしさを語り続ける「語り部」となることが肝要。

まとめとして、クラブ制度は FF の根幹であり大きな財産である。また、個人会員制度の導入は FF の支柱であり、FF の将来はこの二つの制度の共存共栄にかかっている。

クラブ組織の強化と個人会員制度の積極的導入は現存の各クラブの覚悟と具体的取り組みが最大の鍵となる。

(浜 敬子)



会員おしゃべりコーナー

健康を思う

石橋 博之

最近、テニスをするのが面白い。

30年以上前に友人が近くのテニスクラブでテニスをしていて、私も運動不足解消の為にその友人の通っているテニスクラブに入会しました。

それまでテニスは殆どやっていなかったのですが、先ず初心者レッスンの8回コースを3回くらい習ってから本会員に成り、その頃は仕事で忙しく週一回程度しか行けなかったのですが、当然大して上手にはならず、学生時代にテニスをやっていた人達とは別の、ある程度健康に気を使って始めた人達といつも試合をしていました。週一だと今週調子が良いと思って翌週行くと全然勝てなかったりした事も有りました。

リタイアした後もそのテニスクラブに行っていました。温暖化で夏場の気温が段々高くなり、一度テニスをしている途中でめまいがして熱中症になりかけ、外でやるテニスは止めてそのクラブも何年前に止めました。

今は、屋内の冷暖房完備のテニスクラブに移りテニスをしています。そこは、コーチの付いたレッスンなので色々とコーチの指摘も有り、テニスの改善に繋がっています。

今、ほぼ毎晩一杯飲んだ後にYouTubeのテニスの番組を見ています。結構、テニスの勉強になり興味も増しました。

健康だからテニス出来るのか、テニスをしているから健康なのか分かりませんが、テニスは楽しいです。

皆さんも何か健康の為に続けているものが有りますか。



パイプオルガンと私

山本 久美子



私が習い始めた当時、日本では滅多にお目にかかれなかったパイプオルガン。後年のバブル経済によって音楽ホール、教会、大学などに競って立派なオルガンが備えられました。米、独、仏、伊、スイス、カナダなど、世界の一流メーカーのオルガンが日本に集合。さながらオルガン見本市の体。其々個性的な特徴があります。音色、外観、みんな違ってみんな良い。一人のアメリカ人ジャーナリストがこの日本のオルガン事情を不思議がり、「キリスト教国でもない日本で、管理のむずかしいパイプオルガンがこんなに受け入れられているのは何故か？」二年越しで取材しています。私のところにも「仏教寺院にもあるなんて！」と興味津々で話を聞きにやって来ました。

小学生の頃、バッハのオルガン曲を耳にして衝撃を受けました。「これは何という曲だろう！」と、それからオルガンへの執着が始まり、大学でオルガンを学びました。コンサートをしたり、オーケストラのオルガン担当をしたり、何とかしがみついていたのですが、卒業後の先行きは真っ暗。クリスチャンであれば教会オルガニストとしての道もありましょう。皮肉にも私はお寺で育ちましたので、洗礼を受けて「正しいクリスチャン」になるのはむずかしい。いつも悩んでおりました。

たまたま私が大学一年生の時、仏教寺院でありながらドイツ製のパイプオルガンが導入されるという空前の出来事が起こり、大きな話題になりました。その築地本願寺で演奏のアルバイトをさせてもらっているうちに専属オルガニストに採用されました。夜、本堂でオルガンの練習をさせてもらえる幸せを享受しながら、気がつけば50年が過ぎておりました。

キリスト教において大きく発展したパイプオルガン。その音色は人々に仏教の教えをも訴える力があります。置かれたところで私が務めを続けてこられたことに感謝しかありません。

関東ブロック【東京・西東京・埼玉・目黒三鷹・Mt.Fuji 山梨】会議

3月19日(日)午後9時よりMt.Fuji 山梨クラブ主催で ZOOM にて会議が開かれた。

埼玉クラブからは会長、副会長と事務局長、副事務局長が参加した。

FFJの金元さんからは(3月19日現在)myFFへの登録は世界で約7,000人、日本からは約600人。日本から世界大会参加は30人以上、などの報告があった。メンターの石井さんからは2023年8月に英語研修のプログラムがあり、2024年も予定しているとのこと。

各クラブの活動状況の発表の中で、東京クラブからは個人的に成田空港を利用したアンバサダーが会員へ連絡してくるので、忙しく対応に追われている。目黒三鷹クラブは、しかるべき時に東京クラブに入る予定、などクラブ事情が分かった。来年度は埼玉クラブが主催しての関東ブロック会議となる。

2023年度入会者紹介

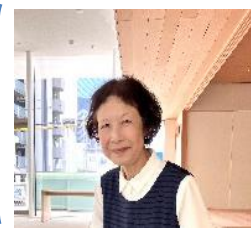


赤川 澄子: 11年ぶりに再入会させていただきました赤川澄子と申します。

皆様がZoomやSNS、LINEなどを利用しながら活発に交流されており、時の流れの速さを感じております。趣味は茶道、煎茶道、いけばな、香道、ヨガです。

どうぞよろしくお願いいたします。

杉本 睦子: FFの皆様ご無沙汰しておりました。2017年ドイツの北部ファーレルとリューベックを皆様とご一緒し、本当に楽しい時を過ごさせていただきました。その後、家庭の事情によりFFの会から距離をおいておりました。この度、再度皆様と活動する機会を頂き心より嬉しく思っております。皆様の熱意溢れるエネルギーを頂きながら、FFの会を楽しんで参りたいと考えております。よろしくお願いいたします。



深澤 美紀子: この度牧野内さんのご紹介で入会いたしました。以前から国際交流には興味がありました。先日の交流会に参加させていただいて大変感銘を受け、是非私も活動してみたいと思いました。Around 70sで、加須市在住、定年で退職後は毎日散歩や家庭菜園でのんびり過ごしております。趣味は茶道(裏千家)観劇(宝塚・歌舞伎・ミュージカルなど)旅行(国内外)読書等です。よろしくお願いいたします。

今後の予定

6月4日(日)	10:00~12:00	会員交流「体験談を聞く会」(シーノ5F) 講座室 2
	13:00~	理事会(シーノ9F) 学習室 1
7月15日(土)	10:00~12:00	理事会(シーノ5F) 講座室 2
	13:00~17:00	渡航準備会(シーノ5F) 講座室 1

発行：ザ・フレンドシップ・フォース・オブ・埼玉

広報部：浜 堀切 原田 石橋 稲垣(朋) 田中 浜島 川田

HP担当 堀切

Mail：friendship.f.saitama@gmail.com

発行日 5月31日